



入職に対する不安軽減サポート「就職前支援」を行っています

内定者の方へ、国家試験対策や入職に関する不安軽減へのサポートをしています。特に交流会は好評で、同期として仲間の絆を深める機会となっています。



参加者からの声

- ・これから頑張る仲間との交流する機会になったのでよかったです。
- ・一緒に働くのが楽しみになりました

就職前支援の内容

- 8月 交流会
 - ・国家試験に向けた学習支援
 - ・看護技術e-ラーニングの紹介
- 11月 国家試験対策e-ラーニング模擬試験
- 3月 病棟体験会

2023年度 交流会レポート

8月の交流会では、内定者が「私実は〇〇なんです」と自己PRを行いました。「私の推しは俳優の〇〇」「好きな飲み物は、ソーダ」と、それぞれの意外な面を知り、楽しい時間となりました。国家試験対策では、実際に輸液ポンプに触れながら、医療機器に関する国家試験の過去問を解き、正解を導きだしました。また、昨年入職の新人看護師より、実際の勉強方法や応援メッセージをもらいました。

トライ 過去問！

～第111回 看護師国家試験問題より～

【問題】

点滴静脈内注射で輸液ポンプを使用する際に設定する項目はどれか

1. 薬剤名
2. 終了時間
3. 投与月日
4. 1時間当たりの流量 ※解答は最下部

新人ナース ～近況報告～

Q)手術室看護のやりがいとは？

NSA: 学生の頃は解剖は教科書上のことでしたが、手術で直接見ることで、疾患と解剖・生理がつながり、学びとなっています。患者さんとの関わりがあまりないイメージでしたが、術前・術後訪問で患者さんの手術に対する思いを聞き、やりがいを感じています。

NSB: 覚えることが多くて大変ですが、その分達成感があります。患者さんと接する時間が短い分、その短い時間を大切に丁寧に関わりたいと強く感じています。

Q)同期の存在は？

NSA: 忙しい時や大変な時に顔を見るととても安心します。応援したり、自分も負けないように頑張ろうと思える存在です。

NSB: 困った時・悩んだ時に相談できる、心の支えです。



麻酔器起動
確認OK!



Q)今取り組んでいることは？

NSA: 最初のころは手術の手順や器械を覚えるので精一杯でしたが、今は少しずつ周りが見えるようになり、医師やペアの看護師、業者の人との連携を大事にしています。

NSB: 手術時間の短い介助から習得しはじめたので、次のステップで、時間の長い手術の業務を覚えはじめています。

手術ベッド
の保温OK!



Q)休日の過ごし方は？

NSA: 犬と散歩、自然の中で体を動かす

NSB: ゲーム、映画鑑賞

【インターンシップ申込みは】
こちらから▼

